

ニホンザル管理事業実施計画案の作成について

1 第4次計画における管理事業実施計画案の作成方針

群れごとに目標頭数や目標エリアを定め、関係する市町村等が市町村事業実施計画（原案）を作成し、それを基に県は群れごとの事業実施計画を策定する。また、事業実施の実績図と計画図により視覚化する。

2 作成方法

(1) 策定手順

①【群れ計画作業部会】

- ・群れごとの課題を整理し、今後の管理事業について検討する

②【市町村】（令和2年1月末までに、各地域県政総合センターに原案を提出）

- ・群れの行動域が複数の市町村にまたがる場合等、該当する市町村で対策の方向性について調整を行う（各地域群れ計画作業部会等）
- ・①の結果に基づき、管理事業を検討し、市町村事業実施計画（原案）（作成例1）を作成

③【県政C】（令和2年2月）

- ・市町村事業実施計画（原案）を取りまとめ、群れごとの事業実施計画（作成例2）を含む地域事業実施計画（案）を作成
- ・群れごとの事業実施計画には、市町村事業実施計画（原案）の実績図と計画図を群れごとにそれぞれ取りまとめた図を作成

地域事業実施計画（案）

地域事業実施計画（案）の構成

- 1 目的
- 2 計画期間
- 3 生息状況（頭数 等）
- 4 被害状況（第二四半期までの農業被害、生活・人身被害 等）
- 5 対策状況（追い上げ数、防護柵設置、捕獲数 等）
- 6 地域の目標
- 7 群れごとの事業実施計画

※ 3から5までは経年の変化が分かるものを記載する。

④【地域協議会】（令和2年2月）

- ・地域事業実施計画（案）を協議

⑤【サル対策専門部会・鳥獣総合対策協議会】（令和2年3月上旬、同年3月下旬）

- ・地域事業実施計画（案）を基に作成した事業実施計画（案）を協議
- ・維持する群れについては、令和元年度に実施したカウント調査結果、令和元年12月末までの捕獲頭数をもとに実施したシミュレーションの結果を参考に、捕獲実施体制等を踏まえて、令和2年度に捕獲を見込む頭数を捕獲計画数として記載する。
- ・捕獲上限値の修正について、鳥獣総合対策協議会にて事務局一任の承認をもらう。

事業実施計画案を作成

⑥捕獲計画数を修正し、令和2年度管理事業実施計画を策定（令和2年5月）

- ・維持する群れについては、令和元年度末までの捕獲頭数をもって、再度シミュレーションを行い、求められた捕獲上限値に基づいて捕獲計画数を修正する。
- ・⑤の案のうち、捕獲計画数を修正し、令和2年度管理事業実施計画を策定する。

捕獲計画数を修正し、事業実施計画策定

(2) 原案の作成

市町村は、生息状況調査結果及び被害調査結果、前年度の事業実績等をもとに、各加害群に実施する対策を行う地区と内容を具体的に明示した事業実施計画原案を作成する。

【群れ管理】

- ・ 個体数調整を実施した場合は捕獲した頭数、実施する場合の捕獲計画数
- ・ 追い上げ（※1）：実施日数、実施主体（委託先）、実施人数、猟友会や職員の出動回数等
追い上げ実施に向けた地域への指導、検討、研修

【被害防除対策】

- ・ 集落環境調査及び集落環境整備：地区名、回数などの実施状況。
- ・ 誘引要因の除去：農地周辺の草刈り、放棄果樹の伐採、果樹の低木化。人家周辺の果実の収穫。餌やりの禁止についての普及啓発。
- ・ 農地への防護柵：設置箇所数及び距離
- ・ 広域防護柵：設置距離、メンテナンスの実施状況。
- ・ 追い払い（※1）：（市町村・農協等が実施している場合）実施日数、実施主体（委託先）、実施人数、猟友会や職員の出動回数等
追い払い実施に向けた指導、検討、研修等、
自衛組織の設置、地域への煙火等資材の提供
- ・ 加害個体捕獲を実施した場合は捕獲数
- ・ その他：住民等への情報提供、特筆すべき対策

【生息環境整備】

- ・ 加害群の行動域及びその周辺での森林整備

【捕獲計画数について】

令和2年度ニホンザル管理事業実施計画の捕獲計画数については、次のとおり、群れの頭数やシミュレーションにより求めた捕獲上限値を参考に、捕獲実施体制等を踏まえて、令和2年度に捕獲を見込む頭数を記載する。なお、管理事業実施計画へは捕獲計画数のみ記載する。なお、令和元年度ニホンザル管理事業実施計画から、捕獲許可期間は計画策定後から翌年度5月末まで行えることとしている。

	捕獲上限値
除去する群	原則的に群れの全頭数 (カウント調査後に増えた個体も含む)
維持する群	目標年度において目標頭数とするために、シミュレーションに基づいて算出した性年齢別の捕獲数

※1 追い上げ、追い払いの記載について

前年度実績、成果及び問題点、令和元年度の対策の各欄における追い上げ、追い払いの項目に記載する活動は、次のとおり活動内容により記載する。

追い上げについては、追い上げ実施に向けた地域への指導、検討、研修等も記載する。

追い払いについては、追い払い実施の指導、検討、研修等、自衛組織の設置、地域への煙火等資材の提供も記載する。

項目	分類	例示	記載例(回数、実施主体等も記載してください)
追い上げ	次の活動のうち、組織的に実施しているもの ①目標エリアに向けた追い上げ ②行動域を変えるための追い払い行為	・ 追い上げ先目標エリアに向けた追い上げ ・ 目標や方向を定めた追い払い	・ ○○山(目標エリア)に向けた追い上げを実施 ・ 畑に出没したサルを○○山の方角に向け、畑の外においても追い払いを実施

		<ul style="list-style-type: none"> 泊まり場つぶし 里地・市街地等のエリアへの侵入を防止する取組 	<ul style="list-style-type: none"> 泊まり場の△△山で追い払いを実施 市街地である□□地域南部への侵入防止のため、監視・追い払いを強化
追い払い	追い上げに該当しない追い払い行為	農地・住宅地に出没した個体への個別的な追い払い行為	

(3) 事業実施の実績図及び計画図案の作成手順

- ① 実績図に加害群の行動域と被害場所及び被害内容、管理事業の実施結果を地図(シェープファイル等 GIS ソフトにて扱える形式のもの。)に記載する。
- ② 現状を評価し、事業実施計画及び事業実施箇所を検討する。
- ③ 検討結果を計画図案に記載する。

【凡例】

○実績図

項目	記載内容	表記方法
被害	農作物被害	被害農地
	生活・人身被害	人家侵入・威嚇された場所
生息環境	餌付け	餌付けが確認された場所
	廃果場	廃棄果実が確認された場所
	誘引果樹	サルの採食が確認された果樹
	耕作放棄地	行動域内の耕作放棄地
実施結果	農地への防護柵	設置箇所(過去も含む。)
	広域防護柵	設置箇所(過去も含む。)
	追い払い	実際に追い払いを行った地点
	個体数調整	はこわなを設置した場所
	加害個体捕獲	加害個体を捕獲した場所
生息状況	群れの出没地点	モニタリングによる群れ確認位置

○計画図案

項目	記載内容	表記方法	
実施予定事業	農地への防護柵	設置予定箇所	
	広域防護柵	設置予定箇所	
	追い上げ・追い払い	群れの出没を防ぐ地域	追払
		群れを追い上げ方向	黒実線矢印 →
	個体数調整	はこわな設置予定場所	

※表記方法は、作成しやすいものに変更可能です。変更した場合は事業実施計画図案に凡例を明記してください。

※実績図及び計画図案を別に作成することが困難な場合は、一つの図に併せて記載することも可能とします。

- 1 対象群：○○群
- 2 目標頭数・目標エリア

項目	目標(第4次計画期間)	目標(令和2年度末)
(1) 目標頭数	・令和3年度末までに群れの頭数を30頭まで縮小する。	・群れの頭数を40頭まで縮小する。
(2) 目標エリア	・□□山周辺	・□□山周辺、☆☆地区の利用減少

※被害は、可能な限り群れごとに集計、複数の群れが出没する地域で、区別できない場合は「○○群も含む」など記載する。
 ※数量以外に特記事項があれば、記載する。

- 3 主な行動域と被害状況

項目	内容
主な行動域	・◇◇地区、☆☆地区 ・夏期は◇◇地区を集中的に利用している。
農業被害	・主な被害作物：○○、○千円 ○○、○千円
生活・人身被害	・○件 ・◇◇地区での～～や——などの生活被害が多い。

- 4 主な課題

「個体数の増加」、「◇◇地区での農業被害」、「☆☆地区にある耕作放棄地での泊まり場解消」

※ 優先順位の高い課題を1から2つ程度記載する。

- 5 実施事業

区分	前年度実績	成果及び問題点	令和2年度の対策
群れ管理	【個体数管理】 ・適正配置とするための群れの縮小 ・処分頭数○頭 【追い上げ】 [委託業者] ・○○地区に出没した群れに対して、□□山の方角に向け、追い上げを○回実施 [追い払い隊] ・泊まり場つぶしについて検討を実施 ・泊まり場の△△山で追い払いを○回実施	【個体数管理】 ・処分頭数○頭 【追い上げ】 ・追い上げ実施後は群れの○○地区への出没が減少した ・△△山の泊まり場をなくしたことにより、行動域が変化した	【個体数管理】 ・適正配置とするための群れの縮小 捕獲計画数○頭 【追い上げ】 ・引き続き、□□山への追い上げを実施し、□□山への定着を図る ・専門業者へ追い上げの指導を委託する
被害防除対策	【集落環境整備】 ・調査□□地区 ・放棄耕作地の整備◇◇地区、○ha ・放棄果樹の除去☆☆地区 ・◇◇地区での餌付け禁止看板の設置 【農地への防護柵】 ・資材費の○%補助 ・○箇所、○m	【集落環境整備】 ・集落環境調査を実施したことにより、住民へ地区の課題を説明することができた ・放棄果樹の除去により、地区の誘引要因が減少した 【農地への防護柵】 ・柵設置農地の被害軽減 ・電気柵を設置できない家	【集落環境整備】 ・進入経路となっている付近の藪刈り1kmを実施 【農地への防護柵】 ・資材費の○%補助を実施 ・家庭菜園へも補助を拡充 【広域防護柵】 ・◇◇地区防護柵点検を年2回実施 ・△△地区に新たに防護柵

	<p>【広域防護柵】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・◇◇地区、○m <p>【追い払い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民へ煙火を配布 ・追い払い隊○名○日 <p>【加害個体捕獲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○頭 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の開催○回 ・メールでの位置情報の提供 	<p>庭菜園が散見</p> <p>【広域防護柵】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柵の補修作業を行う人の高齢化 <p>【追い払い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追い払い隊の活動時間外の出没増 <p>【加害個体捕獲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加害個体が出没する箇所が住宅地であり、かつはこわなでの捕獲が困難 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の開催○回 ・メールでの位置情報の提供 	<p>を○m設置</p> <p>【追い払い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追い払い隊○名○日 ・住民への煙火配布 <p>【加害個体捕獲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加害個体の特定と、緊急を要する場合、麻酔銃捕獲実施を検討 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の開催○回 ・メールでの位置情報の提供
<p>生息環境整備</p>	<p>【森林整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・□□地区○ha 	<p>【森林整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林環境の改善 	<p>【森林整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・□□地区○ha

- 1 対象群：○○群
- 2 目標頭数・目標エリア

項目	目標 (第4次計画期間)	目標 (令和2年度末)
(1) 目標頭数	・令和3年度末までに群れを除去する。	・群れの頭数を15頭まで縮小する。
(2) 目標エリア	・なし	・○○山周辺

※被害は、可能な限り群れごとに集計、複数の群れが出没する地域で、区別できない場合は「○○群も含む」など記載する。
 ※数量以外に特記事項があれば、記載する。

- 3 主な行動域と被害状況

項目	内容
主な行動域	・◇◇地区、□□地区 ・夏期は◇◇地区を集中的に利用している。
農業被害	・主な被害作物：○○、○千円 ○○、○千円
生活・人身被害	・○件 ・□□地区での～～や——などの生活被害が多い。

- 4 主な課題

「個体数の増加」、「◇◇地区での農業被害」、「□□地区にある耕作放棄地での泊まり場解消」

※ 優先順位の高い課題を1から2つ程度記載する。

- 5 実施事業

区分	前年度実績	成果及び問題点	令和2年度の対策
群れ管理	【個体数管理】 ・適正配置とするための群れの除去 処分数○頭 【追い上げ】 [追い払い隊] ・追い払い隊○名○日 ・□□地区の泊まり場での追い払いを○回実施 [自衛組織] ・▲▲山へ向けた追い上げ○回	【個体数管理】 ・処分頭数○頭 ・目標頭数の捕獲ができなかった 【追い上げ】 ・□□地区での泊まり場解消	【個体数管理】 ・適正配置とするための群れの除去 ・捕獲計画数○頭
被害防除対策	【集落環境整備】 ・調査□□地区 ・放棄耕作地の整備◇◇地区、○ha ・放棄果樹の除去◇◇地区 ・◇◇地区での餌付け禁止看板の設置 【農地への防護柵】 ・資材費の○%補助 ・○箇所、○m 【広域防護柵】 ・◇◇地区、○m 【追い払い】	【集落環境整備】 ・調査区内の誘引物の把握ができた 【農地への防護柵】 ・柵設置農地の被害軽減 ・家庭菜園地での自主的な電気柵の普及 【広域防護柵】 ・柵のメンテナンスが高齢化により困難 【追い払い】 ・住民へ煙火を配布 ・農家による自主的な追い	【集落環境整備】 ・耕作放棄地の整備▲▲地区、○ha 【農地への防護柵】 ・資材費の○%補助 【広域防護柵】 ・◇◇地区、○m ・広域柵メンテナンス○回 【追い払い】 ・住民へ煙火を配布 【その他】 ・研修会の開催○回 ・メールでの位置情報の提

	<ul style="list-style-type: none"> ・住民へ煙火を配布 【加害個体捕獲】 ・○頭 【その他】 ・研修会の開催○回 ・メールでの位置情報の提供 	払い <ul style="list-style-type: none"> 【加害個体捕獲】 ・○頭 【その他】 ・研修会開催により、住民に当事者意識が芽生えた 	供
生息環境整備	【森林整備】 <ul style="list-style-type: none"> ・□□地区○ha 	【森林整備】 <ul style="list-style-type: none"> ・森林環境の改善 	【森林整備】 <ul style="list-style-type: none"> ・□□地区○ha

1 群れの目標

項目	目標 (第 4 次計画期間)	目標 (平成 2 年度末)
(1) 目標頭数	・令和 3 年度末までに群れの頭数を 30 頭まで縮小する	・群れの頭数を 40 頭まで縮小
(2) 目標エリア	・△△山周辺	・□□山周辺、☆☆地区の利用減少

2 群れの状況

項目	内容
(1) 生息域	・△△市、◇◇市××地区 ・夏期は××地区を集中的に利用している。
(2) 頭数	・〇頭 (令和〇年度生息状況調査による)
(3) 農業被害	・△△市〇千円、◇◇市××地区〇千円
(4) 生活・人身被害	・△△市〇件、◇◇市〇件 ・□□地区での〜〜や——などの生活被害が多い。

※被害は、可能な限り群れごとに集計、複数の群れが出没する地域で、
 区別できない場合は「〇〇群も含む」など記載する。
 ※数量以外に特記事項があれば、記載する。

3 主な課題

「個体数の増加」、「◇◇地区での農業被害」、「□□地区にある耕作放棄地での泊まり場解消」

※ 優先順位の高い課題を 1 から 2 つ程度記載する。

4 前年度実績

項目	内容	
(1) 群れ管理	個体数管理	・ [目的] 適正配置とするための群れの縮小 ・ [処分数] 〇頭 (△△市〇頭、◇◇市〇頭)
	追い上げ	・ 追い払い隊△△市〇名〇日、◇◇市〇名〇日 ・ 自衛組織△△市〇回
(2) 被害防除対策	集落環境整備	・ △△市□□地区で集落環境調査を実施 ・ △△市◇◇地区で〇ha 耕作放棄地の整備 ・ ◇◇市××地区で放棄果樹の除去
	農地への防護柵	・ △△市〇箇所、〇m ・ ◇◇市〇箇所、〇m
	広域防護柵	・ △△市◇◇地区、〇m設置 ・ △△市◇◇地区、〇mで柵の補修
	追い払い	・ ◇◇市住民へ煙火を配布
	加害個体捕獲	・ ◇◇市〇頭
	その他	・ △△市で研修会を〇回開催 ・ △△市防災メールで群れ位置情報の提供 ・ △△市□□地区での餌付け禁止看板の設置
(3) 生息環境整備	森林整備	・ □□地区〇ha
(4) その他		

5 成果及び問題点

項目	内容
(1) 群れ管理	個体数管理
	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 銃器による捕獲により、追い払いの効果も得られた ・ はこわな設置箇所の増加 <p>【問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲を進めているが、依然として農地への群れ出没が見ら

		れる ・はこわなへの警戒心が高まり、捕獲が困難
	追い上げ	【成果】 ・〇〇地区の泊まり場をなくし、行動域を変化させることができた ・自主防衛組織の設置(〇〇地区) 【問題点】 ・住宅地が近いので、煙火による追い上げが実施できない ・地域全体で追い上げを実施できる体制が整っていない
(2) 被害防除対策	集落環境整備	【成果】 ・地域民で〇〇地区の藪の刈り払いを実施 【問題点】 ・地域に放棄果樹が点在し、誘引物の除去が不十分
	農地への防護柵	【成果】 ・電気防護柵の設置により、農作物の被害が減少した 【問題点】 ・防護柵設置が進んでいない地域がある
	広域防護柵	【成果】 ・□□山中〇m
	追い払い	【成果】 ・追い払い隊員以外の農家や住民の追い払いに対する意識向上 【問題点】 ・追い払い隊員の高齢化 ・追い払い隊員へのサルの慣れが進んだ
	加害個体捕獲	【成果】 ・加害個体を特定し、麻酔銃による捕獲を行い、農地への依存度が高い個体を除去することができた
	その他	【成果】 ・◇◇地区で講習会を〇回実施
(3) 生息環境整備	森林整備	・△△地区〇ha ・□□地区の森林の間伐を実施
(4) その他		

※ 課題が市町村で異なる場合は、分けて記載する。

6 実施計画

項目	内容	
(1) 事業の実施方針	・主な課題である〇〇の解決に向けて、△△を重点的に実施する	
(2) 群れ管理	個体数管理	・[目的]適正配置とするための群れの縮小 ・計画捕獲数〇頭
	追い上げ	・△△市追い払い隊〇名〇日 ・□□山へ向けた継続的、組織的追い上げを専門業者へ委託 ・〇地区で自衛組織設置 ・〇地区で自衛組織向け追い上げの研修会開催、〇回
(3) 被害防除対策	集落環境整備	・△△市□□地区で集落環境調査を実施 ・△△市◇◇地区で耕作放棄地〇haの整備 ・◇◇市××地区で放棄果樹の除去
	農地への防護柵	・△△市資材費の〇%補助
	広域防護柵	・△△市◇◇地区、〇m
	追い払い	・◇◇市住民へ煙火を配布 ・追い払い隊員の活動時間延長
	その他	[研修会の開催] △△市〇回、◇◇市〇回

		[位置情報の提供] △△市防災メール <ul style="list-style-type: none"> △△市□□地区での餌付け禁止看板の設置
(4) 生息環境整備	森林整備	<ul style="list-style-type: none"> □□地区○ha
(5) その他		

1 群れの目標

項目	目標 (第 4 次計画期間)	目標 (令和 2 年度末)
(1) 目標頭数	・令和 3 年度末までに群れを除去する	・群れの頭数を 20 頭まで縮小
(2) 目標エリア	・なし	・〇〇山周辺

2 群れの状況

項目	内容
(1) 生息域	・△△市、◇◇市××地区 ・夏期は××地区を集中的に利用している。
(2) 頭数	・〇頭 (令和〇年度生息状況調査による)
(3) 農業被害	・△△市〇千円、◇◇市××地区〇千円
(4) 生活・人身被害	・△△市〇件、◇◇市〇件 ・◇◇地区での～～や——などの生活被害が多い。い。

※被害は、可能な限り群れごとに集計、複数の群れが出没する地域で、
 区別できない場合は「〇〇群も含む」など記載する。
 ※数量以外に特記事項があれば、記載する。

3 主な課題

「◇◇地区での農業被害」、「□□地区での住民への威嚇行為」

※ 優先順位の高い課題を 1 から 2 つ程度記載する。

4 前年度実績

項目	内容	
(1) 群れ管理	個体数管理	・ [目的] 適正配置とするための群れの除去 ・ [処分数] 〇頭 (△△市〇頭、◇◇市〇頭)
	追い上げ	・ △△市追い払い隊〇名〇日 ・ ◇◇市追い払い隊〇名〇日 ・ △△市自衛組織〇回
(2) 被害防除 対策	集落環境整備	・ △△市□□地区で集落環境調査 ・ △△市◇◇地区で〇ha、耕作放棄地の整備 ・ ◇◇市××地区で放棄果樹の除去
	農地への防護 柵	・ △△市〇箇所、〇m ・ ◇◇市〇箇所、〇m
	広域防護柵	・ △△市◇◇地区、〇m設置 ・ △△市◇◇地区、〇mで柵の補修
	追い払い	・ ◇◇市住民へ煙火を配布
	加害個体捕獲	・ ◇◇市〇頭
	その他	・ △△市〇回、研修会実施 ・ ◇◇市〇回、研修会実施 ・ △△市防災メールで群れ位置情報の提供 ・ △△市□□地区での餌付け禁止看板の設置
(3) 生息環境 整備	森林整備	・ □□地区〇ha
(4) その他		

5 成果及び問題点

項目	内容	
(1) 群れ管理	個体数管理	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 銃器による捕獲により、追い払いの効果も得られた ・ はこわな設置箇所の増加 <p>【問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ はこわなへの警戒心が高まり、捕獲が困難

	追い上げ	【成果】 ・〇〇地区の泊まり場をなくし、行動域を変化させることができた ・自主防衛組織の設置(〇〇地区) 【問題点】 ・住宅地が近いので、煙火による追い上げが実施できない ・地域全体で追い上げを実施できる体制が整っていない
(2) 被害防除対策	集落環境整備	【成果】 ・地域民で〇〇地区の藪の刈り払いを実施 【問題点】 ・地域に放棄果樹が点在し、誘引物の除去が不十分
	農地への防護柵	【成果】 ・電気防護柵の設置により、農作物の被害が減少した 【問題点】 ・防護柵設置が進んでいない地域がある
	広域防護柵	【成果】 ・□□山中〇m
	追い払い	【成果】 ・追い払い隊員以外の農家や住民の追い払いに対する意識向上 【問題点】 ・追い払い隊員の高齢化 ・追い払い隊員へのサルの慣れが進んだ
	加害個体捕獲	【成果】 ・加害個体を特定し、麻酔銃による捕獲を行い、農地への依存度が高い個体を除去することができた
	その他	【成果】 ・◇◇地区で講習会を〇回実施
(3) 生息環境整備	森林整備	・△△地区〇ha ・□□地区の森林の間伐を実施
(4) その他		

※ 課題が市町村で異なる場合は、分けて記載する。

6 実施計画

項目		内容
(1) 事業の実施方針		・群れの全頭除去に向け、群れの分裂に留意しつつ捕獲を進める
(2) 群れ管理	個体数管理	・[目的]適正配置とするための群れの除去 ・[計画捕獲数] 〇頭
	追い上げ	・△△市追い払い隊〇名〇日 ・◇◇市追い払い隊〇名〇日 ・〇地区で自衛組織向け追い上げの研修会開催、〇回
(3) 被害防除対策	集落環境整備	・△△市□□地区で集落環境調査 ・△△市◇◇地区で〇ha 耕作放棄地の整備 ・◇◇市××地区で放棄果樹の除去
	農地への防護柵	・△△市資材費の〇%補助
	広域防護柵	・△△市◇◇地区、〇m
	追い払い	・◇◇市住民へ煙火を配布 ・□□地区で自衛組織の設置
	その他	・△△市〇回、研修会を開催 ・◇◇市〇回、研修会を開催 ・△△市防災メールで群れ位置情報の提供 ・△△市□□地区での餌付け禁止看板の設置

(4) 生息環境 整備	森林整備	・ □□地区〇ha
(5) その他		